

平成31年度(令和元年度) 上下水道部の運営方針

部(局)	上下水道部	部(局)長	辰巳 伸一
------	-------	-------	-------

【基本姿勢】

上下水道は生活に欠かすことの出来ない水道水の供給、生活排水の処理、さらに降雨による浸水被害の防除など、市民生活を支えるとても重要なライフラインです。

この上下水道事業を取り巻く事業環境が、人口減少等に伴う水需要の減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大、また、近年増加している局地的大雨や台風に伴う浸水対策への対応などにより、年々厳しくなっています。

このため、上下水道部では、将来にわたり安定したサービスの提供を続けるため、これまで効率的な事業運営に努めています。

今年度についても「便利で快適に暮らせるまち」の政策目標のもと、市民の皆さまが安心して快適に生活ができるまちを目指し、以下の取組みを進めます。

下水道事業では、「公共下水道整備第7次五箇年計画」に基づき、公共下水道の整備を進めるとともに、公共下水道の計画区域外における浄化槽整備についても、引き続き進め、生活環境の改善と河川などの公共用水域の水質向上を図ります。

また、浸水被害から市民の皆さまの生命、財産を守るため、老朽化が進んでいる雨水ポンプ場の更新に向けた計画の策定を進めるとともに、災害時における下水道施設の早期復旧体制の構築に取り組めます。

水道事業では、新たに策定しました「柏原市水道事業ビジョン2019～2028」において、事業の理想像として掲げた「安全」「強靱」「持続」の実現に向け、老朽化した水道管路や施設の更新、整備を進めるとともに、停電対策の強化にも取組み、災害に強い水道システムの再構築を進めます。今後もこの計画に基づき安全で良質な水道水の安定的、効率的な供給に努めます。

【重点課題】

1	政策目標	(3)	便利で快適に暮らせるまち	施策目標	(1)都市基盤、生活基盤
	計画的な污水整備と生活排水対策の推進				
2	政策目標	(3)	便利で快適に暮らせるまち	施策目標	(1)都市基盤、生活基盤
	下水道施設の老朽化対策				
3	政策目標	(3)	便利で快適に暮らせるまち	施策目標	(1)都市基盤、生活基盤
	災害時の復旧支援の強化				
4	政策目標	(3)	便利で快適に暮らせるまち	施策目標	(1)都市基盤、生活基盤
	水道施設の耐震化の推進				
5	政策目標	(3)	便利で快適に暮らせるまち	施策目標	(1)都市基盤、生活基盤
	危機管理対策の強化				

【重点課題1】

計画的な污水整備と生活排水対策の推進

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

「公共下水道整備第7次五箇年計画」に基づく污水管渠整備を進めるとともに、浄化槽設置による生活排水処理の実施を引き続き行います。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 約2ヘクタールの污水整備を行います。

② 5基の浄化槽設置を行います。

イ 達成目標

① 令和元年度末には、人口普及率約87.4%を目指します。

② 令和元年度末には、設置基数86基を目指します。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	管渠整備事業	下水工務課
イ	浄化槽整備事業	下水工務課

【重点課題2】

下水道施設の老朽化対策

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

雨水ポンプ場などの老朽化した施設について長寿命化を図るとともに、重要度の高い施設から更新を進めます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 下水道施設全般の長寿命化や施設更新の基本となるストックマネジメント計画を策定します。

イ 達成目標

① スtockマネジメント計画に基づく経済的で効果的な更新により、施設の機能を維持します。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	ストックマネジメント計画策定業務委託事業	下水工務課

【重点課題3】

災害時の復旧支援の強化

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

災害により下水道施設が被災した場合に備え、下水道事業関連団体との支援体制を構築します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 災害支援協定締結に向け、関連団体との調整手続きを行います。

イ 達成目標

① 災害時における下水道施設機能の迅速な復旧が可能となります。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	内容(事業名、予算等)	所管室・課
ア	災害支援協定の締結	下土工務課

【重点課題4】

水道施設の耐震化の推進

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

重要度の高い基幹管路等の路線を優先し、計画的に耐震化(更新)を図ります。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 老朽化した水道管路約3.5kmの更新を行います。

イ 達成目標

① 令和元年度末で管路延長約257kmの内108kmが耐震適合化され耐震適合化率は、42%になります。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	内容(事業名、予算等)	所管室・課
ア	水道管路の耐震化(更新)事業	水道工務課

【重点課題5】

危機管理対策の強化

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

可搬型発電機の購入等による代替電源の確保に努めます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 可搬型発電機を備えます。

イ 達成目標

① 長時間停電時に、機械、電気設備が稼働できるようになり、水を送ることが出来るようになります。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	内容(事業名、予算等)	所管室・課
ア	停電対策事業	水道工務課